

修了生の活躍事例

実践に即した授業。力をつけるにはこれ以上の「場」はありません！

この学校を選択したのは父の勧めが最初でした。それで自分でも色々な学校を調べた中で、実習が多いのと、即戦力になるよう一般企業と同じ機械を導入し、それで授業を受けることができるのが最大の魅力と感じました。

座学よりも実習時における機械操作で学ぶ点は実に多くありました。1つのアクシデントが発生した際に、どのように修正するのか、原因を突き止めてどう対応するのか、その対応力を求められるのが個人ではなくグループということ。実際の企業でも起こりうる問題を提示されます。こうした実践主義によって鍛えられるのは大きいです。

機械科のグループリーダーとして装置を開発！

学生時代は、日々の実習で得た知識を基に、スマートアグリシステムの開発を担当。機械科のグループリーダーとして活躍。

スマートアグリシステムの開発で制作した装置▶



山本光学株式会社

新居 千波 さん

近畿職業能力開発大学校

応用課程

生産機械システム技術科

令和元年度 修了



将来、現場のリーダーになりたいと思っています。

将来は、現在の生産技術の業務をさらに深めて、工場内でのさまざまな経験を積み、社員の皆さんから頼れるリーダーになりたいと思っています。ポリテクカレッジで学んだことが、現在の仕事に役立っています。

就職先企業での活躍

新居 千波さんの業務

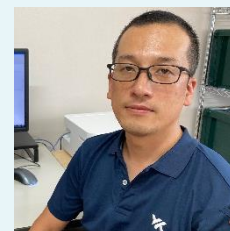
生産技術部に所属しており、ユーザーニーズに対応するため、工程の改善・改良や将来を見据えた製造装置の開発を行っています。

生産技術部の新居さん▶



上司からの声 生産技術部 清井 孝浩 様

入社3年目には開発の取組みが評価され、社長賞を受賞するなど、現在では社内になくはならない存在になっています。今後も若手の中で中心的な役割を担って、専門性を極め、将来的には管理者としての活躍を期待しています。



山本光学株式会社 (大阪府東大阪市)

山本光学株式会社は、「人々の心の豊かな生活文化を創造し社会に貢献する」を企業理念とし、1911年の創業以来「眼を護る」製品を開発してきました。光をコントロールする独自の技術を基に常に新しい技術の研究を行い、働く人々の安全を護る「YAMAMOTO」、アスリートにとって最良のスポーツギア「SWANS」の二つをブランドとして展開し、多様な眼鏡、レンズを世界に送り出す事で、110年以上にわたり人々の生活を支えています。光学的な専門性を有するレンズ設計とそのレンズ性能を最大に発揮できるレイアウトで固定するフレーム設計を一貫して行っているメーカーは世界的に見ても殆どありません。目的に応じて様々なアイウェアをゼロから設計/生産できます。また、110年以上続く日本のメーカーとして、日本人骨格の蓄積が豊富なため、日本人にジャストフィットするアイウェアを得意とします。

(製品例)

- ・ YAMAMOTO(保護メガネ 保護ゴーグル レーザー保護具 電動ファン付き呼吸用保護具 遮光保護具等)
- ・ SWANS(サングラス スイミングゴーグル スノーゴーグル ダートゴーグル)

POINT / 山本光学を支える5つの要素

